

# 4歳児クラス8月 第1回 「くわがたのがたくん」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>擬態語や擬音をフルに使い、クワガタの動きを表現する。</li> <li>お話のあとに、あとがき「クワガタムシはおこりむし」を子ども向けに伝える(絵本参照)。</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> </ul> ペーパーサート (クワガタ等)	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーサートを軽快に動かしながら提示する。「ぼくはおおくわがた!」「ぼくはみやまくわがた!」「ぼくはのこぎりくわがた!」「今日は僕達のお話だよ」等、名称を言いながら楽しく提示し、お話に繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーサート登場</li> <li>会話をする</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	知識	お話を思い出しクワガタの食べる物に○をつけることが出来る。	
設問	「クワガタ」は何を食べますか。合う絵を選んで○をつけましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「くわがた博士からお届けものです」郵便屋さん登場</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「ありがとうございます。なにになに…」(プリントは事前に封筒等に入れておく)と、中を覗き込み、「クワガタ博士から皆にクイズだって!」「このクイズに答えたらプレゼントがあるんだって」等、子ども達が自らやりたい!やってみたい!という気持ちになるように提示をする。</li> <li>プリント、鉛筆を配布し名称確認する。</li> <li>「さて問題です。クワガタは何を食べますか」○をしましょう。</li> <li>絵本等で答えを確認して、花丸・ハンコで賞賛する。</li> </ul>		P1 鉛筆 赤鉛筆・ハンコ
			保育士の役割
活動②	意欲	友達や先生とトントン相撲を楽しむことが出来る	
設問	クワガタをハサミで切り、トントン相撲をしましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「はっけよいのこったのこった」と、クワガタ登場。</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「先生楽しそう!なにしてるの?」</li> <li>保:「クイズがんばったから、博士にもらったの!」「先生一緒に戦おうよ」トントン相撲を始める。</li> <li>「〇〇山~〇〇山~のかち」「くやしい!もう一回!」講師・保育士で楽しい相撲の取り組みを見せて、子ども達もやりたい!となるようにする。</li> </ul>		クワガタすもうカード ハサミ 平かゴ等
			保育士の役割
【作り方】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>①クワガタカードを半分にし、点を折る(しっかりと指先で折り目をつける)</li> <li>②線をハサミで切る(ゆっくりと丁寧に)</li> </ul> ※しっかりと折れないと取り組みができないので、折り目がきちんとついているか確認する。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>出来上がったら、平かごの上に乗せて、トントン相撲をする。</li> <li>先生と対戦したり、子ども達同士など、いろいろ工夫して楽しむ。</li> </ul> ※学習タイムで使用しているプラスチック平かごを使うと良い。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>持ち帰らずに数日保育中に遊んでもよい。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>クワガタ登場</li> <li>子どものフォロー</li> <li>一緒にトントン相撲をする</li> <li>賞賛</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>賞賛して終了する。</li> </ul>	
---	--

<b>数子ヤレ</b>	<small>お皿</small>	<b>数</b>	5 個の操作が出来る	教材
設問	おはじきを使い5個の操作をしましょう。			おはじき 皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>今月は5個の操作です。お皿に4個（3個）入れておき、あと何個入れたら5個になるか、別のお皿（数個入っている）そこから1個取り4個（3個）のお皿に入れて5個になったか数える。（難易度を上げるようであれば3個にする。）</li> </ul>			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>皿の提示</li> <li>子どものフォロー</li> <li>賞賛</li> </ul>